

機関番号

33108

平成26年度「大学教育再生加速プログラム」申請書

1. 設置形態	3	私立	2. 学校種別	1	大学
3. 大学名	新潟工科大学				
4. 所在地	〒	945-1195	住所	新潟県柏崎市大字藤橋1719番地	
5. テーマ	テーマⅡ				
6. 申請者 (学長等)	(ふりがな) 氏名	はせがわ あきら 長谷川 彰	職名	学長	
7. 事業者 (大学等の設置者)	(ふりがな) 氏名	こいずみ はじめ 古泉 肇	職名	理事長	
8. 事業担当者	(ふりがな) 氏名	なかじま しげお 中島 繁雄	職名	副学長	
9. 共同申請校	該当なし。				
10. 学部等名 (学生が所属する全ての 部局名を記入)	工学部				
	総	入	学	定	員
					245

11. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況についての情報のHP等における公表の有無	有
---	---

12. 事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度 (5 年間)
----------	------------------------------

13. 申請経費						
年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合 計
申 請 額 (単位千円)	16,401	12,744	12,183	11,003	8,784	61,115

14. 事業の概要(※400字以内)

少子高齢化に伴い、本学に入学する学生の質が多様化している。一方、本学は技術者を育成・輩出するという県内企業の熱い想いによって開学した工科系単科大学であり、入学時の力を最大限伸ばし、産業界に輩出するという大きな使命がある。

そのため、本学は学生を育てる大学オンリーワンを目指し、実感、成果、戦略を得られる学修成果の可視化システムを確立し、一貫した教育プログラムと連動させ、学士としての質保証を図る。

可視化システムは、**ポートフォリオ**を基軸として**ルーブリック**、**到達度テスト**、**企業との対話による評価**を中心に行い「学修目標・計画⇒学修⇒学修成果の可視化⇒きめ細かい学生指導⇒学修計画の改善」と言う学生の学びと、「3つのポリシーを基本とした教育目標・計画（シラバス）⇒教育⇒学修成果の可視化⇒FD⇒内部と産業界等からの外部評価⇒教育計画・教育方法の改善」と言う教学マネジメントの2つの改善ループを構築する。

400文字